



公園緑地の効果

公園緑地には2種類の効果があります。ひとつは、利用する都市住民にもたらされる効果「利用効果」で、もうひとつは、公園が存在することによって都市機能、都市環境などの都市構造上にもたらされる効果「存在効果」です。

利用効果

- 1 肉体的健康づくり
- 2 精神的健康づくり
- 3 スポーツ・レクリエーションなどの技術の習得と向上および体力の増進
- 4 教養・文化郷土意識の養成
- 5 社会性の増進・コミュニティ活動の場

存在効果

- 1 都市形態規制効果
都市の発展形態の規制あるいは誘導、異種土地利用の分離、緩衝など。
- 2 環境衛生的効果
都市の気温などの調節、騒音振動防止、防風、防塵、大気浄化など。
- 3 災害防止効果
延焼防止、爆発などの緩衝、緊急避難、洪水調節、災害危険地の保護など。
- 4 心理的效果
緑による精神的健康、都市景観美化修景、災害などに対する安堵感、郷土意識の養成。
- 5 経済的效果
周辺地域に与える付加価値、医療費などの軽減。

公園緑地の機能

